

2017年9月14日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～警視庁と連携し、振り込め詐欺を未然に防ぐ～
『振り込め詐欺被害防止アドバイザー』の取り組みを開始
都内のマンション管理員対象、居住者の安心・安全のために

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、高齢者を狙った振り込め詐欺（特殊詐欺）の被害防止のため、警視庁と連携し東京都内で管理受託するマンション管理員を「振り込め詐欺被害防止アドバイザー」にする取り組みを始めましたのでお知らせいたします。普段、マンション居住者と顔を合わせる機会が多いマンション管理員が「振り込め詐欺被害防止アドバイザー」となることで、当社管理受託マンションに居住する高齢者の振り込め詐欺（特殊詐欺）被害防止の一助になるべく協力いたします。

・振り込め詐欺被害防止アドバイザー

振り込め詐欺（特殊詐欺）の被害は高齢世帯や一人暮らしの高齢者に多く、警視庁の集計（2017年7月末時点）では、振り込め詐欺被害を含む特殊詐欺は被害件数が対前年78.4%増・被害額が対前年31.5%増と年々増加しており、被害者の74%が70代以上となっております。

また、東京都の推計（2016年9月15日時点）では、高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は23.1%となっており、マンションにおいても居住者の高齢化が進んでおります。

当社は、マンション約33万戸の管理を受託する総合不動産管理会社です。マンション管理員は、居住者にとって身近な存在であり、居住者に寄り添ったサポートが出来るため、高齢世帯や一人暮らしの高齢者などのサポートは、管理会社として重大な課題であると考えております。

その被害防止の一助となるため、警視庁と連携し「振り込め詐欺被害防止アドバイザー」の受嘱を開始し、マンションにお住まいのご高齢の方に声掛け・情報提供・注意喚起を行い、振り込め詐欺を未然に防ぐ協力をします。本年12月末までに東京都内のマンションに勤務する約1,300名の管理員が取得を予定しております。

当社では、管理するマンションに安心してお住まいいただけるよう、以前から居住される高齢者の方々を想定したサービスの強化を進めております。管理員の定期研修では認知症に対する正しい知識と理解を身につけるため



『振り込め詐欺被害防止アドバイザー』研修風景

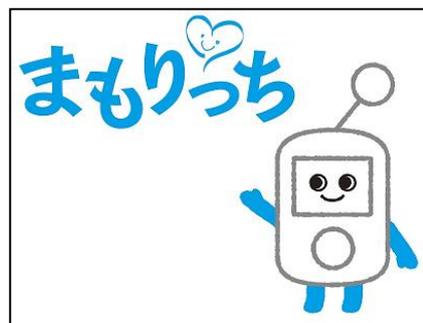
「認知症サポーター養成講座」を2008年3月より実施しており、首都圏に勤務する約3,000人の管理員が資格を保有しております。

2017年1月には東京都実施の都と事業者との連携による「高齢者等を支える地域づくり協定」を締結し、建物管理の日常業務の中で高齢者の異変に気付いた場合、ケースに応じて行政機関・専門機関や警察・消防に通報するなど、穏やかな見守りを推進しております。

・高齢者対応の取り組み

当社では、高齢者向けのオリジナル商品として、ソフトバンクの携帯電話「みまもりケータイ4」を活用した、シニアライフを安心・安全・便利にする当社オリジナルの見まもりサービス『まもりっち』を販売。また、シニアライフサポート『NEXT Navi（ネクスト ナビ）』では、当社がナビゲータとして、健やかで心豊かな“これから～NEXT（ネクスト）～”を応援し、例えば、終活に役立つ情報の定期配信、知識をより深めるための講座開催、またライフステージに合った支援メニューの整備を行っています。

今後も引き続き、高齢者対応の取り組みなどマンション居住者の安心・安全・快適な生活のサポートを推進してまいります。



・東急コミュニティーについて



東急コミュニティーは、マンション、ビル、商業施設や公共施設など、多様な建物・施設の管理・運営を手掛ける総合不動産管理会社です。なかでも、マンション管理戸数は施設管理を含めると50万戸を超え、業界トップクラスの実績があります。

管理組合運営や建物管理だけでなく、お客さまが快適なマンションライフを生涯にわたって過ごせるように、一人ひとりの住まいと暮らしを支えるサービスの提供に力を入れ、『一人ひとりに、幸せ、ずっと』をスローガンに、お客さまが必要なときに最適なサービスをお選びいただけるよう、ライフステージや季節に即したメニューなど、よりよいサービスのご提供を目指してまいります。